

結核登録者情報調査月報報告（秋田県）－令和2年（2020年）5月の概況－

■5月の概況（概数）

- 秋田県の令和2年5月の新登録結核患者数は4人でした。
 そのうち、喀痰塗抹陽性肺結核患者数は2人、その他の活動性肺結核患者数は1人、肺外結核患者数は1人でした。
 年齢別では、70～79歳が1人、80歳以上が3人でした。
 保健所管内別では、秋田市保健所管内で2人、大仙保健所管内で1人、横手保健所管内で1人でした。
- 潜在性結核感染症は1人でした。

■長引く「せき」は赤信号！ 結核に対する一人ひとりの理解が大切です。

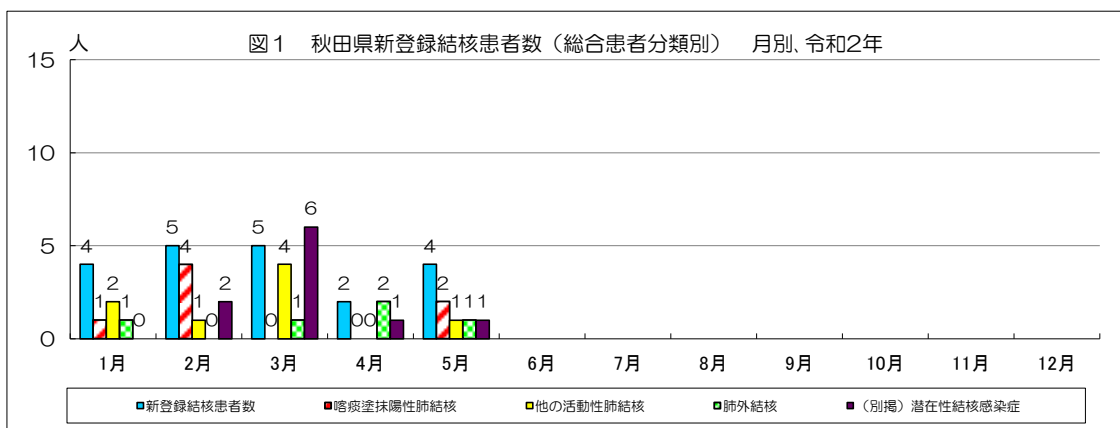
- 結核の発生状況については、県民の皆さんの注意喚起のために、週報及び月報の情報を提供しています。
 ○健康に留意し、毎年、定期健康診断を受けましょう。
 ○2週間以上続く「せき」や「たん」等の症状がありましたら、早めに病院を受診しましょう。

1. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、令和2年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総合患者 分類別 (図1)	秋 田 県	4	5	5	2	4								20
	喀痰塗抹陽性肺結核	1	4	0	0	2								7
	他の活動性肺結核	2	1	4	0	1								8
	肺外結核	1	0	1	2	1								5
	(別掲) 潜在性結核感染症	(0)	(2)	(6)	(1)	(1)								(10)
年 齢 別	秋 田 県	4	5	5	2	4								20
	0-59歳	1	2	0	0	0								3
	60-69歳	2	0	3	0	0								5
	70-79歳	0	0	1	1	1								3
	80歳以上	1	3	1	1	3								9
	(再掲) 70歳以上 %	1 25.0	3 60.0	2 40.0	2 100.0	4 100.0								12 60.0

*用語の説明

- 新登録結核患者……………新たに結核と診断された患者。
 喀痰塗抹陽性肺結核……………たんの中に結核菌が出るようになり、他者にうつすおそれのある重症化した状態の結核。
 活動性結核……………結核の治療を要する者。
 肺結核……………肺又は気管支を主に冒した結核症。
 肺外結核……………肺及び気管支以外の臓器を主に冒した結核症。例えば胸膜、咽頭、腸、腎臓、骨、皮膚等
 潜在性結核感染症……………結核菌に感染しているものの、発病しないで一時的に休眠状態にある場合。



2. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、保健所別、令和2年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保健所別	秋田市	1	0	2	1	2								6
	大館	2	1	0	1	0								4
	北秋田	0	0	0	0	0								0
	能代	0	2	1	0	0								3
	秋田中央	0	1	0	0	0								1
	由利本荘	0	1	0	0	0								1
	大仙	0	0	2	0	1								3
	横手	1	0	0	0	1								2
	湯沢	0	0	0	0	0								0
R2年	秋田県（概数）＊	4	5	5	2	4								20
R元年	秋田県（概数）＊	4	6	2	6	2	6	1	8	5	4	6	7	69

＊月別の合計値（概数）であるため、年報の確定値とは一致しない場合があります。

- 秋田県及び全国の結核情報については、
秋田県健康環境センター、結核予防会結核研究所等のホームページをご覧ください。